



2019年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年3月13日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3134 URL https://hamee.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-42-9083
 四半期報告書提出予定日 2019年3月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第3四半期の連結業績(2018年5月1日~2019年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第3四半期	7,664	8.7	882	△15.0	880	△4.4	631	1.0
2018年4月期第3四半期	7,051	14.0	1,037	36.4	921	30.6	625	27.9

(注) 包括利益 2019年4月期第3四半期 617百万円(△8.5%) 2018年4月期第3四半期 674百万円(34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	39.31	38.80
2018年4月期第3四半期	39.25	38.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第3四半期	5,965	4,138	67.0
2018年4月期	5,042	3,596	68.8

(参考) 自己資本 2019年4月期第3四半期 3,997百万円 2018年4月期 3,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	5.50	5.50
2019年4月期	—	0.00	—		
2019年4月期(予想)				6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日~2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,031	7.0	1,026	△25.6	1,021	△19.4	718	△17.6	44.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名)、除外 -社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年4月期3Q	16,086,000株	2018年4月期	16,053,600株
2019年4月期3Q	475株	2018年4月期	286株
2019年4月期3Q	16,061,623株	2018年4月期3Q	15,932,236株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年4月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、12月の日銀短観によると、大企業全産業のD I (業況判断指数)は前回調査と同じくプラス21となり、引き続き堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調にあります。一方で海外においては、米中貿易摩擦の長期化懸念や金融市場の不安定化など、依然として景気の先行きに対する不透明感は拭えない状況にあります。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル(スマートフォン及び携帯電話)アクセサリーの販売について、スマートフォンケースとしては認知度が高い「iFace」の新シリーズ(新型iPhone向け)や、女性向けモバイルアクセサリーブランド「salisty(サリスティ)」の他機種対応ケース等、個性的な自社企画商品を継続的にリリースし販売拡大に注力いたしました。また、韓国連結子会社が事業譲受により取得したモバイルアクセサリーブランド「PATCHWORKS(パッチワークス)」について、日本市場への導入の他、海外での販売が本格的にスタートするなど、グローバル展開の強化にも積極的に取り組みました。

自社開発のEC自動化プラットフォーム「ネクストエンジン」については、プラットフォーム化のメリットを最大限に活用し、EC事業者の売上拡大を支援する取り組みである商品レコメンドA I (レコメンドメール自動配信アプリ)を正式リリースなど、ネクストエンジンの付加価値向上に注力いたしました。

当社グループでは中長期的な企業価値向上のための経営施策の一環として、成長のための投資を戦略的に実施しております。最近の事例として、コマース事業においては海外に販路を有するモバイルアクセサリーブランドの取得、プラットフォーム事業においてはEC販売支援コンサル企業の取得(M&A)やネクストエンジンの機能強化を実現するための開発投資、その他セグメントにおいてはI o Tサービスに対する研究開発等、従前よりも一歩踏み込んだ成長投資を積極化しております。これに伴い、ソフトウェア償却費の増加、のれん償却の発生、商標権等その他無形固定資産償却費の増加、研究開発費の増加等が顕在化し、各段階利益の伸びが抑制される結果となりましたが、中長期的な企業価値向上に資する重要な取り組みであると判断しております。なお、I o Tサービスに対する研究開発投資の成果として、スマートフォンを持たないお子様のための音声メッセージロボット「Hamic BEAR」を1月にリリースしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,664百万円(前年同四半期比8.7%増)、コマース事業で4.0%、プラットフォーム事業では39.9%の大幅増収となったものの、前述の成長投資の影響により営業利益は882百万円(同15.0%減)、経常利益は880百万円(同4.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は631百万円(同1.0%増)となりました。

参考指標として、成長投資を加味した収益力の指標であるEBITDAによる前年同期対比を以下に記載いたします。

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
税金等調整前四半期純利益	915,830	882,703	△33,126	△3.6%
支払利息	2,106	1,390	△715	△34.0%
減価償却費	131,232	210,405	79,173	60.3%
EBITDA	1,049,169	1,094,500	45,330	4.3%
研究開発費	46,000	90,036	44,035	95.7%

なお、iPhone等スマートフォンの新機種発表時期や年末のクリスマス需要などの影響により、第3四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて最も大きく、第2四半期と第4四半期連結会計期間は同水準、第1四半期連結会計期間が最も小さくなる傾向にあります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

① コマース事業

9月に発売された新型iPhoneシリーズ(XS、XSmax、XR)の販売不振の影響を受け、第2四半期末の時点で前年同期に対して△201百万円の減収となっていた国内卸販売について、新型iPhoneの一部機種の下げに伴い需要回復の兆しが見られたことから、第3四半期末において対前年同期減収額は△168百万円と若干の改善となりました。

国内小売については、iPhone8を中心とするiPhoneの旧モデル向けのケースとともに「iFace液晶保護ガラス」や「iFace Finger Ring Holder」など「iFace」シリーズの売上が底固く推移いたしましたが、新型iPhone向けケースが弱含みで推移したことから前年同期に対し若干の減収となりました。

海外においては、米国の大手雑貨量販店向け卸販売及びクリスマス需要を取り込んで大幅に伸長した小売の双方の販売チャネルで好調を維持した米国連結子会社の売上高が大幅に伸び、国内卸販売の落ち込みを海外販売がカバーする構図となりました。

一方で、米国については、自社企画商品が中心の国内に比して仕入商材の取り扱いが多いため、利益率の低下要因になることに加え、韓国連結子会社によるモバイルアクセサリブランドの取得に伴う無形固定資産の減価償却費、自社企画商品の周知のために実施したプロモーション強化に付随する広告宣伝費の増加等、販売及び一般管理費が増加した結果、コマース事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は6,369百万円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1,263百万円(同4.0%減)となりました。

② プラットフォーム事業

ネクストエンジンの契約を獲得するうえで重要となる初期設定の円滑化を実現するため、従前より進めてきたサポート人員の充実、販売代理店等のパートナー活用、ネクストエンジンの機能強化など、各種施策の効果が発現したことにより順調に新規契約の獲得が進みましたが、契約社数の増加に比例してサポート人員に対するコールセンター業務の負荷が増加したため、サービスレベルの維持向上と自社リソースの有効活用の観点から、コールセンター業務のアウトソーシングを進める方針といたしました。現状コールセンター業務の移管手続きを進めていることと、例年EC事業者の業務負荷が高まる年末年始においては、新規契約の獲得数が鈍るという季節要因が発生することの二つの要因により総契約数は3,511社(OEM除く、前連結会計年度末比416社増)、利用店舗数27,006店(同3,154店増、いずれも自社調べ)となりました。

また、前期に発行済株式の100%を取得して子会社化した、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社についても、当該セグメントへ貢献した結果、プラットフォーム事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,279百万円(前年同四半期比39.9%増)、セグメント利益(営業利益)は374百万円(同19.5%増)となりました。

③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ふるさと納税支援サービスやネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス、1月にリリースしたIoTサービス、スマートフォンを持たないお子様のための音声メッセージロボット「Hamic BEAR」等が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は15百万円(前年同四半期比26.4%増)、セグメント損益(営業損益)は先行投資フェーズであるため△127百万円(同141.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ923百万円増加し、5,965百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が127百万円、商品が462百万円、その他流動資産が277百万円、のれん等の無形固定資産が297百万円増加した一方で、買掛金や未払法人税等の支払いなどに伴い、現金及び預金が261百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ382百万円増加し、1,827百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方で、買掛金が76百万円、未払法人税等が175百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が増加した一方で、買掛金が80百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ541百万円増加し、4,138百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益631百万円の計上と、配当金の支払い88百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境等を踏まえ、2018年6月13日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、修正内容の詳細につきましては、2019年3月13日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,117	1,433,340
受取手形及び売掛金	1,260,718	1,388,450
商品	773,689	1,235,698
仕掛品	760	—
貯蔵品	82	160
その他	267,600	545,155
貸倒引当金	△9,185	△9,078
流動資産合計	3,988,783	4,593,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,575	196,402
減価償却累計額	△33,035	△27,862
建物及び構築物 (純額)	174,539	168,540
工具、器具及び備品	245,249	334,127
減価償却累計額	△156,017	△215,023
工具、器具及び備品 (純額)	89,232	119,104
建設仮勘定	—	1,601
有形固定資産合計	263,771	289,246
無形固定資産		
のれん	189,963	366,068
ソフトウェア	211,074	239,268
商標権	30,525	23,080
技術資産	—	8,459
顧客関連資産	—	92,312
その他	28	28
無形固定資産合計	431,591	729,218
投資その他の資産		
投資有価証券	177	177
関係会社株式	29,523	25,279
保険積立金	33,069	36,114
繰延税金資産	187,792	180,126
その他	107,566	111,961
投資その他の資産合計	358,130	353,659
固定資産合計	1,053,493	1,372,124
資産合計	5,042,276	5,965,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,484	219,925
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	99,892	65,538
未払金	283,986	410,880
未払費用	157,870	147,250
未払法人税等	278,823	102,968
賞与引当金	82,344	44,760
返品調整引当金	3,615	5,325
ポイント引当金	1,161	958
その他	30,508	29,326
流動負債合計	1,234,687	1,626,933
固定負債		
長期借入金	197,915	151,934
退職給付に係る負債	9,907	—
その他	2,890	48,719
固定負債合計	210,712	200,653
負債合計	1,445,400	1,827,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	533,442	535,737
資本剰余金	453,442	455,737
利益剰余金	2,472,446	3,012,397
自己株式	△261	△564
株主資本合計	3,459,069	4,003,308
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,918	△5,940
その他の包括利益累計額合計	7,918	△5,940
新株予約権	129,888	140,896
純資産合計	3,596,876	4,138,264
負債純資産合計	5,042,276	5,965,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)
売上高	7,051,723	7,664,932
売上原価	3,508,497	3,759,159
売上総利益	3,543,225	3,905,773
返品調整引当金戻入額	6,198	3,615
返品調整引当金繰入額	4,127	5,325
差引売上総利益	3,545,295	3,904,063
販売費及び一般管理費	2,507,683	3,021,955
営業利益	1,037,611	882,107
営業外収益		
受取利息	263	690
持分法による投資利益	—	4,228
受取補償金	1,934	3,295
その他	1,600	2,315
営業外収益合計	3,798	10,530
営業外費用		
支払利息	2,106	1,390
売上割引	2,847	3,083
支払保証料	5,043	5,490
持分法による投資損失	69,585	—
株式交付費償却	3,047	—
為替差損	36,625	1,067
その他	579	956
営業外費用合計	119,834	11,988
経常利益	921,576	880,649
特別利益		
新株予約権戻入益	—	6,290
特別利益合計	—	6,290
特別損失		
減損損失	—	4,091
固定資産除却損	2,119	144
事務所移転費用	3,625	—
特別損失合計	5,745	4,236
税金等調整前四半期純利益	915,830	882,703
法人税、住民税及び事業税	299,004	243,931
法人税等調整額	△8,540	7,458
法人税等合計	290,463	251,390
四半期純利益	625,366	631,313
親会社株主に帰属する四半期純利益	625,366	631,313

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)
四半期純利益	625,366	631,313
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	49,250	△13,858
その他の包括利益合計	49,250	△13,858
四半期包括利益	674,617	617,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674,617	617,454
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年7月27日 定時株主総会	普通株式	71,267	4.50	2017年4月30日	2017年7月28日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年7月26日 定時株主総会	普通株式	88,293	5.50	2018年4月30日	2018年7月27日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,124,694	914,403	7,039,097	12,625	7,051,723	—	7,051,723
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,124,694	914,403	7,039,097	12,625	7,051,723	—	7,051,723
セグメント利益又は損失(△)	1,315,727	313,356	1,629,083	△53,054	1,576,028	△538,416	1,037,611

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△538,416千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,369,739	1,279,233	7,648,972	15,959	7,664,932	—	7,664,932
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,369,739	1,279,233	7,648,972	15,959	7,664,932	—	7,664,932
セグメント利益又は損失(△)	1,263,193	374,353	1,637,547	△127,883	1,509,664	△627,556	882,107

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△627,556千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。